

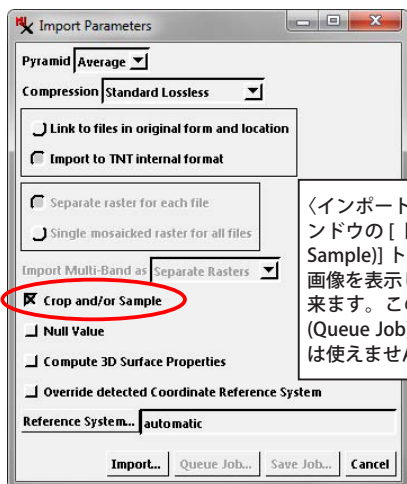
インポートの際の画像のトリミングやサンプリング

TNTmips Pro では、任意のサイズのラスタ画像をインポートして使うことが出来ます。しかし、大きな画像の一部だけをインポートしたい場合もあるかもしれません。インポート処理には、抜き出す画像の範囲を表示しながら選択したり、抜き出す範囲をダウンサンプルしてセルサイズを大きくするオプションがあります。このインターフェースには出力ファイルを TNTmips Basic や TNTmips Free のラスタサイズ制限に合わせるための設定も備えています(これらのライセンスで処理を実行する場合、この制限が自動的に適用されます)。

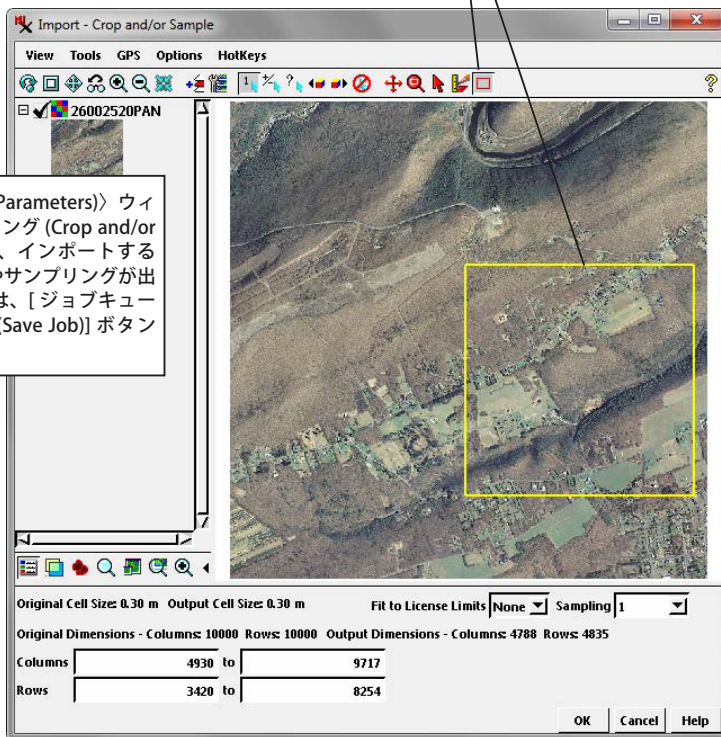
で、入力セルサイズに適用する乗数を設定します。[サンプリング]フィールドに整数や小数値を直接入力して、セルサイズの乗数を設定することも出来ます。

[ライセンス制限に合わせる (Fit to License Limits)]メニューを [なし (None)] に設定した場合、入力画像から任意のサイズを抜き出すことが出来ます。このメニューを [Basic] または [Free] に設定し、サンプリング率を選択した場合、[抜き出し] ツールの可変ボックスのサイズはそのラ

[抜き出し] ツールで提供される可変ボックスを使って、インポートする画像の範囲を指示します。



〈インポートパラメータ (Import Parameters)〉ウィンドウの [トリミングとサンプリング (Crop and/or Sample)] トグルをオンにすると、インポートする画像を表示しながらトリミングやサンプリングが出来ます。このモードがオンの時は、[ジョブキュー (Queue Job)] や [ジョブの保存 (Save Job)] ボタンは使えません。



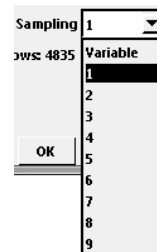
インポートする画像をトリミングやサンプリングするオプションは、ラスタインポート用の〈インポートパラメータ〉ウィンドウのトグルボタンをオンにすることでアクティブになります。必要なインポートオプションを設定した後、[インポート (入力)(Import)] ボタンを押して、出力用のファイルのプロジェクトファイル名とオブジェクト名を選択します。

単一の入力ファイル中のマルチバンドや、同じ行と列のサイズを持つ複数の入力ファイルは、トリミングやサンプリングする時に一組の入力画像として扱われます。全ての入力画像の処理に使うため、初めの画像成分だけがテンポラリファイルにインポートされ、〈インポート - トリミングとサンプリング (Import - Crop and/or Sample)〉ウィンドウに表示されます(右上の図)。ウィンドウのツールバーにある [抜き出し (Extract)] ツールがデフォルトでアクティブになり、抜き出すエリアを決めるボックスを描くことが出来ます。表示キャンパスの下の窓に、元の画像と出力画像のセルサイズとラスタサイズが表示されます。[列 (Columns)] と [行 (Rows)] フィールドには抜き出すエリアの列番号と行番号の範囲が表示されます。これらのフィールドは編集可能で、抜き出すエリアをマニュアルで調整することもできます。

[サンプリング (Sampling)] メニューでは、抜き出すエリアをダウンサンプルして、元の画像よりセルサイズを大きくすることが出来ます。このメニューの 1 から 9 の整数値

必要に応じて、[サンプリング]メニューからサンプリング率を選択します。

ライセンスレベルの最大許容サイズの範囲に自動的に制限されます。サンプリング率の整数値 (出力セルサイズ) を大きくしてボックスを描くと、解像度は低くなりますが、より広範囲の画像を抜き出すことが出来ます。あるいは、[サンプリング]メニューから [変数 (Variable)] オプションを選択すると、[抜き出し] ツールを使って入力画像から任意の一部分 (画像全体でも可) を選択することが出来ます (出力範囲がライセンスレベルの制限内に収まるように、出力セルサイズが自動調整されます)。



TNTmips Basic と Free のラスタサイズの制限	
Basic	4百万セル(個)、1辺の最大サイズ 20,000 (例. 2,000 × 2,000、4,000 × 1,000)
Free	百万セル(個)、1辺の最大サイズ 10,000 (例. 1,000 × 1,000、400 × 2,500)